

平成30年度 千葉県介護人材確保対策事業  
いすみ市介護サービス事業者連絡協議会  
第2回研修会

日 時 平成30年9月15日(土)

13:30~16:30

場 所 特別養護老人ホームいすみ苑

参加者 41名

1. 開会 会長挨拶 特別養護老人ホーム いすみ苑 施設長 小室 昌弘氏

介護保険制度が施行されて、新聞報道等で高齢者虐待の実態についての報道が多くされていて、福祉従事者からの高齢者虐待が増えている。現在、福祉関係の学校の新卒の入職は望めず、全く福祉と関係のない学校を卒業した人が多くなっている。虐待が多いのは知識のない若者達が認知症高齢者と関わっているのが原因。是非、本日の学びを事業所に持ち帰り、職員育成につなげてほしい。

いすみ市は人口4万人の小さい市であって、高齢化率も40%となっている。淑徳大学の先生が30年後は75歳以降の高齢者と労働世代65歳以下の人の人口が1対1となると言っている。そういう状況がいすみ市には近々に迫っているという事を介護の現場で働く私たちが危機感を感じながら、いすみ市が元気になる為に、介護事業所で事故なく、トラブルなく地域の方々に期待される事業所になることを切に期待させていただきたい。



2. 講義「認知症の気づきのケアについて」

講師：清和の里居宅介護事業所

介護支援専門員 介護福祉士 認知症ケア専門士

佐々木 厚子氏

千葉県認知症ケア専門士

鈴木 康人氏

渡辺 美代子氏

小関 しげみ氏

川崎 芳子氏

① 認知症を引き起こす主な病気

- ・アルツハイマー病
- ・レビー小体型認知症
- ・前頭側頭認知症
- ・脳血管性認知症
- ・その他

② 認知症の症状

○ 中核症状

1. 記憶障害…何回も時間を聞いたりする。
2. 見当障害…遠くに歩いていこうとする。動くのが早い。
3. 理解・判断力の障害…考えるスピードが遅くなる。
  - ・考えるスピードが遅くなる・
  - ・二つ以上の事が重なるとうまく処理できない。
  - ・いつもと違う出来事で混乱しやすくなる。
  - ・目に見えない仕組みが理解できない。トイレが流せない等
4. 実行機能障害
  - …料理など計画を立てて段取りをすることができなくなる。
  - ※自分たちは何をするの？  
→見守って少しずつやってもらおう。千切りなど。
5. その他…感情表現の変化など



## ○行動、心理症状と支援

- ・感情表現ができなくなる。  
→認知症の人には第一印象が大事。にっこり。
- ・身の回りの動作に支障がでてくる。  
→トイレの近くに部屋があるのは、トイレに行きやすいから。
- ・物盗られ妄想  
→あたしの財布どこにやった？と仰いだす為、必ず本人と一緒に探るのが良い。
- ・日常生活に支障がでてくる行動障害（徘徊）  
→人は坂があったら下る性質がある。GPS で靴につける物がある。

## ○その他の身体的症状

### ③認知症の診断・治療

- ・どんな病気からきているのか調べる。  
…薬からきている認知症だったら、薬を止めたら治る。

### パーソンセンタードケアとは

一人の人として周囲の人や社会とかかわりを持ち、受け入れられ尊重され、それを実感しているその人のあり様。本人との周囲の相互関係を含めた概念。

- ・大事にされている。尊重されているというケア。
- ・何かをする時に名前をよんであげると気持ちがいいし安心。

\*オールドカルチャー（昔は認知症の人は何をしてもわからないと言われていた）

→介護者は自分たちを犠牲にしてやっていないか？疲れてしまい、良いケアができない。

\*ニューカルチャー

→認知症の人もスタッフもそれぞれ人間なのだから、それぞれの立場を尊重する。

一方的に押し付けないケアをしましょうという事。そうすると自分たちが楽になる。

### 認知症の人の重要な心理的ニーズ

1. 携わる → できることはやってもらう。寝たきりの人に味付けをしてもらう。
2. 共にあること → 一緒に何かをやる。いつも見ているよ。
3. くつろぎ → 安らぎが大事。
4. 自分らしさ → 服など自分で選択する。
5. 結びつき → 信頼関係をつくる。

その中央にあるのは愛です。大事にされている、見てくれていると感じると落ち着く。

※自己実現 ⇒ 自分の役割がほしい、

### 認知症の人の行動や状態に影響する背景や要因

NI＝脳の障害 …病院受診する。

H＝身体の状態

…難聴で認知症と思われている人がいるので、しっかり話をする。

体調の変化を訴えられない人がいる為、しっかりと観察しなくてはいけない。

栄養が大事。食べてくれない人には、「あなたの為に料理を作る」と言いながら支援し続け、栄養が行き届いたら認知症状が改善されてきた例がある。

B＝生活歴

…この人はどんな生活を送ってきたのかを知ると、どう接したら良いかわかる。

P＝性格傾向

…体調不良の自覚がないから訴えられない。

SP＝社会心理

### VIPS モデル

#### V. あらゆる人々の価値を認める

あたしを認めてくれること。戦争を体験してきているから物を大事にする。新しいものを着ない。理解してあげる。

#### I. 個人の独自性の尊重

同じ右麻痺でも違う。やる気のある人は杖を突いて歩く。やる気を出させる。

できなかったことができたら褒めてあげる。

## P. その人の視点に立つ

物を捨てないなど。着やすいから痛みやすい。言いたいけど恥ずかしくて言えないこともある。私たちは一応受け入れて否定しない。認めながらもこちらのペースに持っていかなければならない。一度やってもらって、できなかつたら違うものを示してあげる。

## S. 支え合う社会的環境

馬鹿にされて恥をかくのなら死んだ方がいいと言う。子ども扱いする。強制していないか？急がせていないか？そうすると余計時間がかかる。共に喜び尊重する。私はああなりたくないと思っているのが伝わる。ちょっとした工夫で自分たちも楽になる。

※VIPSのそういう気持ちでみると、どうしてこういうことになるのかがわかってくる。

## ロールプレイ

田中美代さんの入浴拒否

『風呂が好きな美代さんがどうして  
入りたがらなくなったのか？』

### 【グループワーク】(7グループ)

- 各グループ2名ずつロールプレイを行ってもらい、美代さんがお風呂に入りたくるように声掛けして下さい。

『各グループの良かったこと』

1. 後でまた声掛けに来ますから。
2. 大きな声を出さずに話す。
3. 世間話をする。何が好きなのか探る。
4. 目の高さを合せて話す。
5. 声のトーンがとても良い。高齢者には「ゆっくり」「はっきり」「低い声で」

※フレディの遺書(朗読:渡辺美代子氏)…インターネット参照。

【佐々木講師より】いすみ市の皆さんの支援方法はとても素晴らしいと感心しました。  
いすみ市は災害対策も早く素晴らしい。

【幹事板谷氏より】なによりもうれしかったのはグループワークが活発だったこと。これだけの人が集まるのがすごい。いすみ市の介護を元気にしようといふ会長が言ってくれていたように、皆でいすみ市を頑張って良くしていこうと思いました。

### 【いすみ市役所健康福祉課】

福祉課の婚活事業で10/6催しがある。若干空がある為、参加できる人はお願いしたい。

